

第2 業務仕様書

1. 概要

- (1) 件名 : 2024年度 JICA 筑波の庁舎で使用する電気の調達
- (2) 需要場所 : JICA 筑波 茨城県つくば市高野台3丁目6番
- (3) 業種及び用途 : 事務所及び附属施設

2. 仕様

(1) 供給電気方式等

- 1) 供給電気方式 : 交流3相3線式
- 2) 供給電圧(標準電圧) : 6,000V
- 3) 計量電圧(標準電圧) : 6,000V
- 4) 標準周波数 : 50Hz
- 5) 受電方式 : 1回線受電方式
- 6) 蓄熱式負荷設備の有無 : 無

(2) 契約電力、予定使用電力量

- 1) 予定契約電力 : 500kW

各月の契約電力は、当月1か月の最大需要電力とその前の11か月の最大需要電力のうち、いずれか大きい値とする。ただし、最大需要電力が500kWを超えて変更する必要があるときは、甲乙協議の上変更するものとする。500kW以上の契約で契約電力を超過した場合は、甲乙協議の上、甲は乙に超過金を支払わなければならない。

契約電力を超過して電気の使用があった場合には、乙は、速やかに契約電力を適正なものに変更するべく協議を行う。

- 2) 予定使用電力量 : 1,331,210kWh(1年当たり)
(月別の予定使用電力量は別紙のとおり。)
- 3) 予定力率 : 100%

(3) 使用期間

自 2024年4月 1日 0:00
至 2025年3月31日 24:00

(4) 電力量等の計量

- 1) 自動検針装置 : 有
- 2) 電力会社の検針方法 : 自動検針(通信方式)
- 3) 電力量計構成 : 電力需給用複合計器(普通級)

(5) 需給地点

JICA筑波施設内の受電柱に施設した区分開閉器の電源側接続点。

(6) 電気工作物の財産分岐点

需給地点に同じ。

(7) 保安上の責任分界点

需給地点に同じ。

(8) 対価の支払い方法

乙は毎月初めに請求書を作成し、請求を行うこととする。

(9) その他

- 1) 力率の保持のための自動力率調整装置を設置しているため、使用期間中は100%を保持する予定。
- 2) フリッカ発生機器等電気の質に影響を与えるような負荷設備は特にない。
- 3) 非常用自家発電設備を有している。構成は以下のとおり。
130kVA 1台
- 4) 各月の電気料金の算定において、基本料金の力率割引又は割増、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金については、東京電力管内の一般送配電事業者が特定規模需要に対して定める標準供給条件（基本契約要綱）によるものとする。
- 5) 燃料費調整額及び市場価格調整については、地域を管轄する一般送配電事業者の最終保障供給約款に準ずる。
- 6) その他この仕様書に定めのない事項については、別途協議するものとする。

月別予定使用電力量

(単位：kWh)

月	予定使用電力量				
	ピーク時間	昼 間		夜 間	合 計
		夏季	その他季		
4			47,216	38,356	85,572
5			40,111	41,309	81,420
6			56,964	35,551	92,515
7	20,336	65,217		57,163	142,716
8	24,094	76,518		57,478	158,090
9	17,722	58,224		51,453	127,399
10			45,599	37,657	83,256
11			50,871	41,519	92,390
12			76,565	44,429	120,994
1			76,919	53,466	130,385
2			71,792	48,328	120,120
3			60,878	41,487	102,365
合計	62,152	199,959	526,915	548,196	1,337,762

注1) 夏季とは、7月1日から9月30日までの期間をいう。

注2) その他季とは、4月1日から6月30日及び10月1日から翌年3月31日までの期間をいう。

注3) 昼間とは、8時から22時までの時間をいう。ただし、休日等（日曜日、祝日、12月30日～1月3日、4月30日～5月2日）の該当する時間を除く。

注4) 夜間とは、昼間時間以外の時間をいう。

注5) ピーク時間は午後1時から4時をいう。

注6) 4月～11月は2023年度実績、12月～3月は2022年度実績。